

東北芸術工科大学伝統館

薪能

能巴 ともえ 観世鏡之丞

愛する義仲と最期をともにすることを許されず、深い悲しみのうち巴御前は戦いに身を投じる…。



狂言 ちやつぽ 茶壺

山本東次郎

茶壺を背負ったまま道で寝込んだ男とそれをかすめ取ろうとする詐欺師。その争いの結末は…。



2021年5月17日(月) 17時30分開演 (受付開始 16時30分)

東北芸術工科大学水上能楽堂「伝統館」

入場協力金：一般の方 3,000円 / 本学生の保護者 2,000円 / 他学生 1,500円

※小中高生・本学生・本学教職員無料

【主催】東北芸術工科大学 【後援】山形県 / 山形市

申込先

お申込み者1名につき往復はがき1枚に、往信面に「ご氏名、ご住所、電話番号、薪能鑑賞希望」とご明記の上、返信面の宛先にご住所・ご氏名をお書きいただき、下記宛先にお送りください。折返し、入場整理券として返送させていただきます。なお、本学生の保護者の方(1家族2名まで)は、上記に加えて、往信面に本学生の氏名と学籍番号をお書きください。

東北芸術工科大学 地域連携推進課 〒990-9530 山形市上桜田三丁目4番5号

Tel: 023-627-2168 Fax: 023-627-2081 E-mail: chiiki@aga.tuad.ac.jp URL: http://www.tuad.ac.jp

●ご来場のみなさまへ…会場では「3密」を避ける行動をお願いいたします。マスクの着用、咳エチケット、こまめな手指消毒または手洗いを
お願いいたします。咳、のどの痛み、だるさ、発熱などの体調不良を感じる場合には、ご来場をお控えください。ご入場時に検温へのご協力をお
願いたします。37.5℃以上の方はご入場をお断りさせていただきます。接触確認アプリ(COCoA)利用へのご協力をお願いいたします。

東北芸術工科大学伝統館新能

2021年5月17日(月) 午後5時30分開演
於 東北芸術工科大学水上能楽堂伝統館

学長挨拶 中山ダイスケ

解説 鶴澤 光

狂言 茶壺

シテすっぱ 山本東次郎

アド使いの者 山本 則孝
アド 目代 山本泰太郎

火入れ・休憩

前シテ 里女
後シテ 巴御前 観世鎮之丞

ワキ 旅僧 森 常好

大鼓 亀井 広忠
小鼓 鳥山 直也 笛 栗林 祐輔

アイ里人 山本凜太郎

後見 西村 高夫
清水 寛二

地謡 安藤 貴康 鶴澤 久
鶴澤 光 小早川 修
谷本 健吾 柴田 稔
長山 桂三 馬野 正基

【演目紹介】

狂言 茶壺 (ちゃつぽ)

酒にしたたかに酔い、千鳥足で街道を歩く使いの男が背負った茶壺の連尺(負い紐)を片方外し、道端で寝込んでしまう。

そこへすっぱ(詐欺師)が通りがかり、茶壺を騙し取ってやろうと、もう片方の連尺に腕を通し、自分も寝入る。やがて目を覚ました使いの男は見知らぬ男が連尺に腕を通してのけに気付いて驚く。

兩人ともにこれは自分の茶壺だと言って譲らず争っている、所の目代(役人)が仲裁に入る。茶の産地などを尋ねられ、すっぱは使いの男の答えを盗み聞きして同様に答えるが…。

能 巴 (ともえ)

信濃国木曾の旅僧が都へと向う途中、近江国粟津へと着いた。

そこへ若い女が現れ、この粟津の原こそ信濃木曾より出た木曾義仲が神となって祀られている場所であるからと旅僧に参詣を促す。

やがて日も暮れ、女は木曾の旅僧がこの地に立ち寄ったのも何かの縁であると義仲のために読経を頼み、自分も亡霊であると明かすと草陰に消え失せてしまった。

所の者から先程の女は義仲に仕えた巴の亡霊だったのだろうと聞き、僧が夜すがら読経をしていると甲冑姿の巴の亡霊が現れる。

巴は女であるという理由で義仲が自分を最期の時まで供をさせなかったことが執心となっていてのだと恨み言を述べ、昔語りを始める。

雪の残る一月の粟津の原。手傷を負った義仲は馬で泥深い田に踏み込み、抜け出せなくなった。敵に討たれるよりはと巴は義仲に自害を勧め、自らも供をしようとするが、義仲は女である巴を引き留め、形見の品を木曾へ届けるよう言い渡す。巴は言葉もなく涙を流すが、押し寄せる敵に巴は長刀を取って奮戦し、敵を蹴散らす。義仲の許へと巴が戻ると義仲は既に松の根元で自害を遂げた。巴は名残惜しくも形見の品を手に木曾へ逃げ落ちたのだ。そう語ると、巴の霊は僧に回向を頼んで再び消え失せてしまう…。

巴の義仲に対する忠義心と思慕の念を勇ましくも艶やかに描いた、女性主人公の唯一の修羅能。

【演者紹介】

山本東次郎

大藏流狂言方。一九三七年、故三世山本東次郎の長男として生まれる。四二年狂言『痿痺』のシテで初舞台。五二年『三番三』、五八年『釣狐』、七一年『花子』を披く。九二年度芸術選奨文部大臣賞受賞。九四年度観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。九八年、紫綬褒章受賞。〇一年、エクスンモービル音楽賞(邦楽部門)受賞。〇七年、日本芸術院賞受賞。重要無形文化財各個指定(人間国宝)。一般財団法人杉並能楽堂理事長。

観世鎮之丞

観世流シテ方。一九五六年、故八世観世鎮之丞静雪(人間国宝)の長男として生まれる。伯父観世寿夫、および父に師事する。六〇年、四歳で初舞台。〇二年、九世鎮之丞を襲名。力強さと繊細さを兼ね備えた謡と演技には定評がある。海外公演やジャンルを超えた世界でも幅広く活躍。〇八年度日本芸術院賞受賞。二年紫綬褒章受賞。重要無形文化財総合指定保持者。公益社団法人鏡仙会理事長。公益社団法人能楽協会理事長。京都芸術大学評議員。

【開催にあたり】

七〇〇年の歴史を持つ能は、「ユネスコ世界無形文化遺産」に指定されるなど日本だけでなく世界的な舞台芸術のひとつとされています。

本学に水上能楽堂「伝統館」が出来ましたことを機に、より多くの県民の皆さまに幽玄なる能楽の世界に親しんでいただき、東アジアに生きる日本人としての社会的・文化的アイデンティティを確認する機会としていただければ幸いです。

東北芸術工科大学長 中山ダイスケ